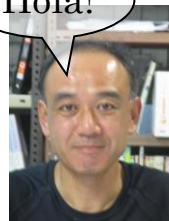


パナマ新聞

2016年 10月号

パナマ日本人学校
あさだ まさはる

Hola!



白山小学校のみなさん、おげんきですか。日本はそろそろ、秋のおとずれをかんじるころでしょうか。パナマは、いつでも夏です。3年生の理科にある「たいようのうごきのかんさつ」をすると、たいようは、東からのほり、まうえをとおって、西にしずみみます。(南のたかいところをとおりません!) いつでも、あついです!

こんかいは「まだまだあるぞ! パナマ日本人学校のしょくぶつとどうぶつ②」ということで、これまでにしょうかいしきれなかった「ココヤシの木、リス、ハチドリ」をしょうかいします。

1 ココヤシの木、

パナマ日本人学校には、ココヤシがあります。ココヤシのみは「ココナッツ」とよばれています。ココナッツのなかには、みずがはいっていて、あなをあけて、のむことができます。また、みをわるとしろうい「かにく」があります。ここは、りょうりをしてたべることができます。ココナッツミルクも、ココヤシからできます。



のめます! あじは...?

2 リス

学校のちかくのおおきな木にすんでいて、でんせんをはして、学校のマンゴーやアーモンドをたべにきます。わたしたちは、めっちゃめっちゃかわいいとおもうのですが、パナマ人のようむいんさんは、リスにいろいろなものをなげつけておいほらいます。リスからマンゴーをまもっているのだそうです。リスはスペイン語で、「アルティージャ」です。日本でサッカーがすきなひとは、「アルティージャ」といえば、J1の「おおみや」ですよね。「リス」がチームのなまえなのですね。(していた人はいますか?)



3 ハチドリ



新潟にはいませんが、せかいにはたくさんハチドリがいるらしいです。パナマにもハチドリはふつうにいます。いま、日本人学校のマンゴーの木にすをつくり、たまごをあたためています。けしごむくらいのおおきさで、とてもかわいいです。くうちゅうにとまりながら、はなのみつをすいます。そのときは、1びょうかに80かいも、はばたくそうです。ハチドリのはねのいろは、キラキラひかるあおやみどりいろで、とてもきれいです。うごきがとてもすばやくて、ちかづくときとあっというまににげていってしまいます。



たまご、あたためちゅう